

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	私は身近なところからSDGsに取り組みたいと思います。例えば、電気の節約やプラスチックごみの削減、リサイクル活動への参加など、環境に優しい生活を心がけます。また、SNSなどを通じてSDGsの重要性を発信し、周囲の人々にも意識を広めていきたいです。募金活動やボランティアへの参加も積極的に行っていきます。
令和7年度	多様性を受け入れる 知る姿勢を大切にする 教育に関心を寄せる
令和7年度	ここでは、アルバイトの経験からできることをまとめました。お客さんにリユーズブルバッグのおすすめをしたり、紙レシートではなく電子レシートを提供することで、森林伐採や余分なゴミを生むことを抑制できればと考えます。
令和7年度	私の地域はゴミの分別に厳しくありません。しかしゴミを捨てる時や洗い物をする時、そのまま油などを流すのではなく汚れを拭き取ってから捨てたり、スーパーなどでゴミの分別がされているところまで持って行くなど少し面倒なことでも心がけて行動することで自分たちの手で良い環境作りをすることができると思います。
令和7年度	インスタグラムのストーリーや投稿に「#BlackLivesMatter」に関するものをシェアすることが今の私にできる行動の一つです。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・服のリサイクルや募金活動などを行なっている団体、企業への協力。 ・環境に良い商品や製品を選択する。 ・人種差別やジェンダーへの理解を深め、センシティブな内容の発言を控える。
令和7年度	公共交通機関を使う、マイボトルの持参、政策を変えるために選挙に参加する。
令和7年度	<p>私にできるSDGsの取り組みとしては、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①紙のレシートをなるべく受け取らない。 ②授業の資料はタブレットを活用し、Google Classroomから直接ダウンロードする。 ③紙パックの飲み物容器は洗って乾かし、資源回収に出す。 <p>の3つです。</p> <p>もちろん、紙の手帳や、試験対策に向けたノートのように、紙の方が覚えやすく使いたいと感じる場面もあります。そういった場面での電子化にはまだ抵抗がありますが、先ほど挙げた3つの行動であれば、私にも無理なく取り組めるSDGsの実践だと考えます。</p> <p>日常の中の小さな行動であっても、一人一人の積み重ねがSDGsの一歩になると私は思います。</p>

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	自分の周りの人を知っていき違いを受け入れる体制を身につける。周りの人を笑顔にする。人種、信仰、考え方の違いについての知識を身につける。
令和7年度	環境を守るという点については、私はエアコンをなるべくつけないようにしたいと思います。冬では、例えば、夜寝る時に寒い時は、湯たんぽを布団の中に入れておくなどして、できるだけエアコンの使用を控えるようにしたいと思います。
令和7年度	ジェンダーについてよく知るために、調べる。 ポイ捨てをしない。 買い物をする時はマイバッグを持っていく。 エアコンは自分に厳しく使う。
令和7年度	私が自身で取り組める行動は、世界で起こっている諸問題や、グローバルな問題を知ることです。それにより、SDGs達成に不足していることや、それに必要なことを把握でき、その状況下において、より効果的な行動に取り組めると思います。
令和7年度	食料や衣服を残したり、無駄に買ったりせず、フードロス無くす行動や他人に渡るように工夫をすることは大事だと思う。また、企業が提案している取り組みに自分自身も積極的に参加することで、SDGsへの貢献につながると思う。また、ジェンダーに対して理解を深めた上で、センシティブな内容は口に出さないや、話題にしないという意識を高めていくことや、知る姿勢を大事にしていくことも大切だと思いました。
令和7年度	<p>私自身が取り組める行動として、まず「知ること」と「伝えること」を意識したい。SDGsが掲げる課題は一見大きく、個人で何ができるのか分かりにくいですが、だからこそ、まずは現状について関心を持ち、調べることから始めるべきだと考える。そして、それを友人や家族と共有し、身近なところから対話を生むことで、周囲の意識を変えていく力にもなる。</p> <p>また、日常生活の中で取り入れられる行動として、環境に配慮した買い物(エコ商品やフェアトレード製品の選択)、ゴミの分別、エネルギーの節約を徹底することなどがある。私は大学内で使い捨てプラスチックをなるべく使わないよう心がけており、マイボトルやマイバッグを持ち歩いている。</p> <p>さらに、将来的には教育に関わる活動を通じて、すべての人が平等に学べる社会の実現に貢献したいと考えている。小さな行動の積み重ねが大きな変化につながる信じ、身の回りの問題に関心を持ち続けながら行動していきたい。</p>
令和7年度	<p>難しい地域にはzoomでオンラインレッスン等が実現できればいいなと思います。私自身、現在子供英語教室で講師としてアルバイトをしており、そこでも遠方からオンラインレッスンを受けている子供が沢山います。なので私も講師として勉強を教える手助けをしたいです。</p> <p>また、差別への私たちの世代の認知度をあげることも課題だと思うので、そういったところでは他の班でも発表で言っていました。私たちが1番身近であるSNS発信が若者の目にとまりやすいのかなと思います。</p>

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	正しく使われる慈善団体への募金や、SNSを通じた発信、又、その問題に対して深く学び、正しい知識を身につけること
令和7年度	自身が取り組める活動としては、無駄をなくすことだと考えます。例えば、食べ物の食べ残しをしない、服のリサイクルをするなどがあげられます。簡単なことと感じますが、これを一人ひとりの人々が行ったら大きな変化をもたらすことが可能だと思います。例えば、ユニクロなどの企業が行っている服のリサイクルボックスの設置で、お客さんが服のリサイクルをすることによって、SDGsの達成に近づけることができると考えます。
令和7年度	現状を踏まえ、わたしができることとして、食品を必要な分だけ買う、マイバック・マイボトルなどを持ち歩くことができると考える。また、わたしはアパレルのアルバイトをしており、紙のレシートの代わりに電子レシートをおすすめする、リサイクルボックスの存在を宣伝するなど、働く側からのアプローチも行っていきたいと考えている。
令和7年度	<p>マイボトルの使用や4Rを徹底する。リサイクルを意識しごみの分別を行い、リユースするため要らなくなった服は捨てるのではなく必要な人に回し、いらぬものは買わないようにする。また、選挙に参加することで、SDGsに対して取り組んでくれる行政に変えていく。</p> <p>【自分の知っている情報を伝える、他者に共有する】 情報に触れるまでのハードルが高く、SDGsの存在は知っていても内容までは知らないことが多い。そのため、自分から発信していくことで他の人が知るハードルを下げ、他者と共有し合うことで自分自身に新しい考えを取り入れることができると思う。</p>
令和7年度	まず、様々な団体がいろんな問題の解決のために動こうとしていることを知るべきだと思います。ちゃんと正しい知識を身につけてから少しの金額でも募金をしたり、ボランティア団体に参加するべきです。ちゃんと知って行動することによって人ごとのように思っていたことが自分ごとのように考えることができます。次に、分別をしっかりとすることが大事です。分別は簡単にすぐにはできる行動だと思います。分別することによって、資源の節約になり環境を守ることができます。最後にマイバックを持つことも必要だと思います。そもそも環境に良くない可能性のあるポリ袋を買わないことは地球を守ることに繋がると私は考えました。
令和7年度	自分は主に衣服の大量廃棄に着目していて、セカンドストリートなどのリサイクルショップを利用することで大量廃棄が少なくなるのであると考えました。また、自分はluck rackというアパレルショップでアルバイトをしています。ここはオフプライスストアというもので、メーカーやブランドなどからの余剰在庫であったり、販売時期が過ぎた商品などを多く集めて、安く販売しています。つまり本来捨てられるはずであった商品達が、また商品として並んでいます。こういったお店を使うこともSDGs達成に寄与するのではないかと考えました。
令和7年度	世界レベルを考えると、英語を使えるということは必須になると思います。私は英語を勉強していて、日常会話程度なら英語を使うことができるし、海外に行ったり英語で交流したりすることが好きなので、まずは日本でされているSDGsのイベントに参加したり、将来は海外で行われているSDGsの活動に参加したいです。

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	まずは自分のSDGsに対しての当たり前の基準を上げることである。例えばペットボトルの処理、水の使い方など。これが全員できればSDGsなどここまで謳う必要はなくなると思う。そして、SDGsについて深く学ぶことである。課題としてSDGsウォッシュという言葉が出てきていたが、私もその1人だと思う。だからもっと深掘りしていき、SDGsの意義と今後の活動を学んでいく必要があると感じた。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフに募金する ・使わなくなった電子端末をリサイクルする
令和7年度	紙を使わず大学の授業に取り組みます
令和7年度	私は個人的に飲食店でアルバイトしているため、環境のために自分が取り組める行動として、食材の廃棄を少なくすることや、水や電気などエネルギーの使用を節約することができると思います。また、個人的には公共交通機関を使用する、食材を買いすぎない、マイボトルを使用する、エコバックを使用することに取り組めると考えました。
令和7年度	私が取り組める行動としてマイボトル、マイバッグを持ち歩くことがある。それにより、ペットボトルやビニール袋の消費量を減らすことができると考える。またゴミの分別も大切だと感じた。これらひとつひとつは私たちが少し意識するだけでできる対策である。
令和7年度	私たちが日頃買っている商品が、誰がどういう環境で作っているのか知ること、使う責任と買う責任を持ちます。
令和7年度	<p>取り組める行動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相手を思いやった行動をとる 2 周りの人にSDGsについて話してみる 3 小さいことでも継続してやってみる 4 必要なものだけ買う 5 自分にできることはほかにかどうか考えてみる 6 ボランティアに参加する 7 実際に問題が起こっている場所に行ってみて、実体験してみる 8 ゴミを捨てたり、あまり出さないようにする 9 SNSを通じて、SDGsについて多くの人に知らせる 10 ペットボトルを使わず、マイボトルを使ってみる

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	募金、ボランティア、フェアトレード商品を積極的に購入する、世界の現状について調べる、3R、公共交通機関を使用する
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・電気・水を使いすぎないようにする。 ・エコバックを使う。 ・SDGsの各項目について学び理解する。 ・食べ残さない。
令和7年度	SDGs達成のために私ができることは、自分から発信していくことだと思います。友達や身近な人に社会の問題について話したり、SNSで自分の考えを共有したりすることで、世界ではたくさん問題が起きているということに気づいてもらうきっかけをつくることができます。一人ひとりが発信していくことで、少しずつですが、周りの人の意識を変えていくことができると思います。
令和7年度	私は英語が話せることに加え、大学でSDGsや国際協力について学んでいることから、SDGsに関する取り組みにおいて多くの強みがあると考えています。そのため、ただニュースを見て関心を持つのではなく、実際に貧困地域に足を運び、自分にできるボランティア活動を行いたいです。そしてその経験を発信することで、多くの人に課題の現実を伝える役割を果たしたいと考えています。
令和7年度	主体性を持って日常に起きていることを自分事の話にするために国内外問わず、状況が知れるような学び・活動を通して現実を知る。
令和7年度	フェアトレード商品についてよく知り、積極的に生活に取り入れる！
令和7年度	まず、SDGsについて知ることが一番重要なことである。SDGsとは何かを具体的に説明することができる人は少ないと思うので、まずは世界にはどんな課題があるのか、どのような方法を使ってそれらの課題を解決していくべきかを考える必要がある。自分たちだけの力で世界を大きく変えることは難しいが、少しの意識で世界を少しずつ変えることができる。例えば、水や電気を使いすぎない、使わない時は電気を消したり水道の水を止めるなどである。そのほかにも、プラスチックゴミ削減のために、できるだけマイバッグ、マイボトルを持参することもできる。また、食べ物を残さないことでフードロス削減することができる。このように、少しのことでも自分たちにできることは必ずあるので、少しずつできることから活動していくべきだと考えた。
令和7年度	私は身の回りのものを大切に扱うことと毎日世界のニュースをチェックすることに取り組みたいです。まず身の回りの物にを大切に扱うことで、環境や自然を守ることにつながります。またものを大切に使うという気持ちは、周りの人に対しての気持ちにもつながり、心に余裕ができると思います。毎日世界のニュースをチェックすることは、今起こっている社会問題を深く知るきっかけになるからです。SDGsの目標は問題を根本から理解し、問題が起こっている地域の目線になって考えないと解決できません。なので、ニュースをチェックすることでSDGsへの意識を高めることができると思います。

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	ファストファッションが流行っている中で新しい洋服を買う際セカンドストリートやフリマで取引をする、逆の立場でも捨てるのではなく売ったり譲ったりするなどする。
令和7年度	まず私が取り組めることは1つ目は募金、2つ目はフードロス減らす。3つ目はごみの分別、4つ目は、エコバッグ・マイボトルを使う、5つ目は人種や宗教への固定概念をなくす、つまり多様性について考えるなど、上記した個々が意識して取り組めることを積極的にしていこうと思います。
令和7年度	これらの問題に対して、自分ができることは決して大きなことではないかもしれないが、日常の中で意識を持って行動することが第一歩になると感じています。例えば、水を出しっぱなしにしない、必要以上に物を買わないといったシンプルな行動も、持続可能な社会に向けた実践のひとつだと思います。また、SNSや会話の中で無意識に差別的な表現を使っていないか、自分の言動を見直すことも大切です。軽い冗談のつもりでも、誰かを傷つける可能性があるという意識を持つことが、今の多様な社会に求められている態度だと感じました。小さなことでも積み重ねていくことで、自分なりのSDGsへの関わり方ができると思うし、それが将来につながる行動になると信じています。
令和7年度	食品を買うときに賞味期限が近いものから選ぶ。 フェアトレード商品を買う。
令和7年度	私は現在、アルバイトで学童保育に関わっています。その中で、子どもたちにSDGsについて学んでもらえる機会をつくろうと考えています。例えば、簡単な授業を行ったり、動画を作って一緒に見たりすることで、楽しみながら学べるように工夫したいです。また、自分自身も着なくなった服をリサイクルに出すなど、身近なところから行動を始めています。そして、もし将来、自分に子どもができたときにも、「SDGsとは何か」「なぜ大切なのか」をしっかり伝えられるように、今から学び、行動することが大切だと感じています。
令和7年度	まず、SDGsについて調べて、自分が取り組める活動を知る。 マイボトルの持参や未利用魚を活用するサブスクの利用など、SDGs達成につなげられる行動を積極的に行い、周りにその行動を広げていく。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いやゴミ拾いボランティアへの参加 ・募金 ・エコバッグの使用 ・レシートの電子化 ・ゴミの分別 ・マイボトルなどのマイ〇〇を持ち歩く

年度	私のSDGs宣言
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ拾いやゴミ拾いボランティアへの参加 ・募金 ・エコバッグの使用 ・レシートの電子化 ・ゴミの分別 ・マイボトルなどのマイ〇〇を持ち歩く ・買い物をする時必要なものだけ買う
令和7年度	<p>私がこれから取り組める行動としては、まずSDGsに関する情報を積極的に知ること、そしてそれを周りの人と共有することだと思います。ニュースや本、ネットを通じて正しい知識を得て、それを家族や友人、SDGsについてまだ知らない子供たちに話すことで、身近なところから意識を広げていけるとと思います。また、日々の生活でもエコバッグを使う、ごみを分別する、食品ロスを減らすなど、小さなことから行動に移していきたいです。</p>
令和7年度	<p>各ゴールに対する問題を知り、少しずつでも自分にできることを探し、実践する。また、少しでもそのような人が多くなり、みんながSDGsに対する意識を持てるようにSNSなどを用いて、各問題について考えるきっかけを発信する。</p>
令和7年度	<p>食べ物や服を自分の必要な分だけ買い、ロスをなくすこと。</p>
令和7年度	<p>各ゴールにおいて、日本を含め、どの国がどのような状況にあって、日本がどのような支援をしているのかなど知識を深めること。 食べ残しをしない、エコバッグ・マイボトルをつかう、地産地消など日常ですぐにできることを心がける。</p>
令和7年度	<p>私たちができる活動としては黒人の差別の対象となっているBlack Lives Matterなどの発信を自発的に行うことや、世界で何が起きているかなどのニュースを見て、世界情勢を知ることです。</p>
令和6年度	<p>飢餓をなくすために、食べ物を残さないようにする。</p>
令和6年度	<p>ご飯を残さないようにします。</p>
令和6年度	<p>不要なゴミを減らすべく、お気に入りのエコバッグを持ち歩きます。</p>

年度	私のSDGs宣言
令和6年度	トイレトペーパーの使う巻数を減らす。
令和6年度	スーパーでは消費し切れる量を買う。
令和6年度	食べ物を購入する際は必要な分だけ購入し、実際に調理する際も余らないように気をつけたい。
令和6年度	マイバッグ、マイボトルを必ず持ち歩いて、環境を守る！
令和6年度	服は捨てるのではなく譲ったりリサイクルに出したりする。
令和6年度	4.みんなに平等な教育を！
令和6年度	飢餓などで苦しむ人の問題を解決するために、日頃から少しでも食品ロスを減らすということを徹底したい。
令和6年度	最近マイバッグを持ち歩くようになり、コンビニエンスストアやスーパーでレジ袋を買う頻度が減りました。しかし毎日のようにペットボトルの水を買っているのに、マイバッグを持参するようになってからもペットボトルを毎日買い普通のゴミ箱に捨てているようでは意味がないと思いました。そのため、授業後にマイボトルを買おうと決心しました。
令和6年度	食べ物の買いすぎ、頼みすぎを防いでフードロスをなくし、ゴミを減らすことにもつなげる。
令和6年度	ペットボトルを使わないように水筒を使う。
令和6年度	お風呂のお湯を洗濯や拭き掃除に使う。

年度	私のSDGs宣言
令和6年度	自分が持っている食材などをきっちり把握し、必要以上に調達せず、腐らせることを避ける。
令和6年度	買い物に行く時にはエコバッグを持参する。
令和6年度	ファストファッションを買わない！
令和6年度	いつもコンビニなどでビニール袋に入れてもらうので、マイバックを持ち歩くように心がける。
令和6年度	買い物をする際にエコバッグを必ず持ち歩いて、プラスチックのストローやスプーンを買わない。
令和6年度	SDGsの達成に向けて、17のゴールを一度に把握し、全てを視野に入れて活動することは難しいと考えました。それでも、本当に身近なことをすることが大事だと改めて痛感しました。もし、私にできることがあるとするなら、節約から入ると考えています。
令和6年度	学校にマイボトルを持参する。
令和6年度	必要以上の物や食料を買わない。
令和6年度	私は海の平和を守りたい。例えば海洋プラスチックゴミなどの自然に悪い有害物質を人間の力で排除していき、人だけでなく海洋生物も暮らしやすい世の中にしていきたいと感じた。
令和6年度	ペットボトルを買わずにマイボトルを持ち歩く。
令和6年度	マイバッグ、マイボトルの持参を徹底する。

年度	私のSDGs宣言
令和6年度	私はお風呂に入る時間が遅く、よく追い焚きしてしまうので、できるだけしないようにしてガスの消費を減らしていきたいです。
令和6年度	マイボトル・マイバックを持参する。
令和6年度	手洗いの際にもこまめに水を止める。
令和6年度	原料がリサイクルされている商品を積極的に購入する。
令和6年度	家電などの電子機器類の調整をこまめにする。
令和6年度	食品を買いだめしない。
令和6年度	バイクでいっぱい取りすぎない。
令和6年度	食品ロスを減らすために、買った商品はなるべく消費期限内に使い切る。
令和6年度	貧困について、世界だけではなく、日本で起きている貧困について知る。
令和6年度	フードロスを防ぐために、ホテルなどの朝食バイクなどで、食べ残しがあつた際に罰金を設定する。
令和6年度	フードロスをなくすために、賞味期限を気にしながら食品を購入する。

年度	私のSDGs宣言
令和5年度	お風呂に入る時間を可能な限り時間をかけずに済まし、水を大切に使います。
令和5年度	必要以上に服を買わない！
令和5年度	フードロスを減らす、食べ切れる量の食料を買う。
令和5年度	ゴミや、プラスチックの削減などできることを身の回りで行うこと。ゴミはきちんと分別するなど簡単そうで以外としていないことをする。
令和5年度	私は普段から大きめのカバンを持ち、買い物袋をもらわないようにします。
令和5年度	私はステレオタイプをなくし男女問わず平等に1人の人間として接していく。
令和5年度	日本人だけでなく、外国人労働者を含む働いている方に感謝。
令和5年度	コンビニなどで商品を買うときに、前から取り、自分が食べられる分だけを購入する。
令和5年度	地球温暖化を防ぐために電気代の無駄遣いを防いだり、買い物に行く際、ビニール袋をもらうのではなくエコバッグを持参したりと身近な対策に貢献する。
令和5年度	食品ロスを防ぐために、食べ物も多く買いすぎない、作りすぎない、頼みすぎないことに気をつけたいと思います。
令和5年度	食品ロスを減らすために食品を買う際にはその時に必要な量だけを買うように努める。

年度	私のSDGs宣言
令和5年度	新しい服を買って、前のものが不要になった際は、セカンドハンドショップに持って行って捨てることのないよう心がける。
令和5年度	商品を手取る際に、どんな材料でどんな環境で作られているのかがしっかりしているものを買うようにする。
令和5年度	出かける際は、マイバッグを持ち歩きます。
令和5年度	マイボトルを持参する。
令和5年度	必要以上の食料を買わない。
令和5年度	環境汚染を抑制するためにゴミを減らす努力をする。さらに環境汚染の原因であるCO2を出さないように、プラスチック製のものを使わないように、レストランやカフェで紙製のストローを使うことや、レジ袋を使用せずに、エコバッグを必ず持ち歩くことを心がける。環境汚染の進みが遅くなるよう努力する。
令和5年度	賞味期限や自身の適した量に合わせて食材や消耗品を購入する。
令和5年度	私は、飲食店でアルバイトをしているのですが、特に食べ残しが多くあります。そのため、私はフードロスを防ぐためにしっかり食べれる量を注文して頂くことを目的として接客をしていきたいと思っています。
令和5年度	バイキングで食事するときは自信が食べれる以上の量は取らないようにする。
令和5年度	飲食店のバイト先で食材を仕込みすぎないで、客数を予測してから適切な量を作る。
令和5年度	レストランなどで食べ物を注文する際に、一度にたくさん頼むのではなく、十分に食べきれぬ量を頼むことでフードロスを防ぎ、ゴール12(飢餓をゼロに)を心がける。

年度	私のSDGs宣言
令和5年度	買った材料で料理を作りすぎず、食べ切れる量を調理する。
令和5年度	ごはんを食べるときは、食べ物を残さないようにする。
令和5年度	自炊する際は、食べられる分のみ、作るように心がける。
令和5年度	外食をする際に、自分が完食できる分の食べ物だけを注文する。又、店側の視点として食べ物を残すお客さんに対して追加料金を払わせる政策をとる。
令和5年度	地域コミュニティの活性化による人間関係の希薄の解消を志す。
令和5年度	食品ロスを減らすために、今必要な分だけを購入し、衝動買いをしないようにする。
令和5年度	私はよく、その日に作りたい料理を作って、冷蔵庫にいつも使わなかった材料が残ったままになって、結局ゴミ箱に捨ててしまうことが多くあったので、私の希望する料理ではなく、冷蔵庫に残っている材料で作れる料理から作っていく。
令和5年度	私は自炊をよくするのですが、毎回使う分だけの食材を買い、材料が余らないようなレシピを考えるようにしようと思います。
令和5年度	陸の豊かさを守るために植物や生態系を守るためにポイ捨てをしないことと、ポイ捨てを撲滅する運動をしようと思います。
令和5年度	子どもの貧困をなくすために、負の連鎖を止める。そのためにも、まずは女性の貧困や男女格差を是正する必要がある。子どもが経済的理由や生まれの地域によって制限なく、平等に教育を受ける機会を与えられるよう、将来的にこれらの問題解決に向けた取り組みに直接関与したい。
令和5年度	ゴール2の飢餓をなくそうというのは私自身の行動で取り組めると考える。例えば、ユニクロなどに行くといらなくなった服をリサイクルして、貧しい人々に届けたりすることができるシステムがある。自分はこれから自分が着れなくなった服などをそのような活動に支援をしていきたいと宣言する。

年度	私のSDGs宣言
令和5年度	着なくなった服、着れなくなった服をすぐに捨てるのではなく、タオルとして使ったり、フリマアプリを活用したりする。ユニクロなどでは衣料寄付boxを設置しているので利用する。
令和5年度	昔の人たちが守り抜いてきた自分の生まれた町を守り抜き、後世の子どもたちにも託していく。
令和5年度	食品を取り扱うときになるべく失敗しないことで廃棄を減らせるよう努力し、お客様に提供する
令和5年度	分別をする、なるべくプラスチックを使わないようにマイバックやマイボトルを持ち歩く、物を長期的に使い、不要になったものやリサイクルや寄付に回す。
令和5年度	消費期限切れで食品を捨ててしまうことがないように、しっかりと管理し、自分で消費できる最低限必要な分だけ買うようにする。
令和5年度	日常生活のなかで常に自分の身の回りが綺麗な状態であるようにゴミ捨てや家の掃除を率先して行うようにする

年度	私のSDGs宣言
令和4年度	働く人が安心して生活できる、子育てができる町・労働環境の整備
令和4年度	買った食べ物は消費期限内に全部食べきる
令和4年度	レジ袋の有料化のように、プラスチック削減につながるマイバックの持参、マイボトルの使用を心がけます
令和4年度	紙ストロー利用のようにプラスチックの使用をできるだけさける
令和4年度	食事を一切残さない 食べられることを感謝する
令和4年度	世界での飢餓問題、日本での食ロスは今日でも大きな課題として残されたまま そこで、まずは日本で身近に「廃棄寸前の食品から購入する」よう心がけたい
令和4年度	生産者側と消費者側、両方が責任を持ってモノをつくり、つかう。 リユース、リデュース、リサイクル
令和4年度	ゴミや環境汚染につながる物を減らし、きれいな街づくりを目指す
令和4年度	無理しすぎず、日本なりの経済成長をする。毎日の残業で仕事を間に合わせるのではなく、効率よく、意味のある働き方をする
令和4年度	マイタンブラーなどを利用し、ゴミを減らす
令和4年度	マイバッグを利用し、プラスチック削減に協力する

年度	私のSDGs宣言
令和4年度	服を含めたモノをよく考えてから買い、長く大切に使い続ける
令和4年度	節水や洗い方を工夫して、水を大切に使います
令和4年度	買い物をする際、マイバックを持参する！
令和4年度	食べ物を残さず食べる(食品廃棄を減らす)
令和4年度	地球温暖化が進行する中で、世間があまり重要視されていないからこそ、個人で、CO2の排出を防ぐ(エアコン、ガス、食べ残し、節約)を心がける
令和4年度	食生活に気を付け、適度な運動をする
令和4年度	差別の撤廃を行い、一人一人の意見を尊重
令和4年度	世界には飢餓で苦しんでいる人々がいるということを念頭に置き、作る責任、そして、使う責任についてもう一度考え、フードロスを削減する
令和4年度	住み続けられるまちを作るために、ポリ袋をエコバックに、ペットボトルを水筒で代用していきます。ごみを捨てるべき場に捨てるのと同時に、ゴミがあれば積極的に拾い、捨てるべき場に持っていきます
令和4年度	飢餓をゼロにするために、食べ残しをしない！
令和4年度	地元や大阪産の野菜や食べものを積極的に無駄なく食べ、環境問題、地方創成に取り組む！

年度	私のSDGs宣言
令和4年度	環境を良くするために、タバコのポイ捨てをしない
令和4年度	100円ショップや3COINSで手軽に便利なモノが買える時代になったからこそ、簡単に購入せず、本当に必要なものか、長く使えるモノかを判断してから買うようにする。
令和4年度	食料廃棄を減らす。具体的には、バイト先のコンビニの廃棄を減らす
令和4年度	どこにいても自然を感じられる国に
令和4年度	スーパーなどへ行く時はエコバッグの持参
令和4年度	固定観念にとらわれず周りの人、環境に気づかえる行動を心がける
令和4年度	使用したゴミの分別や食べる事ができない量の食事を作る、頼んだりして残さないようにする。また、国間での差別をなくすためにお互いの文化を理解するとともに受け入れ、平等に接する。
令和4年度	使った後や食後に出る廃棄物をできる限り減らし、食事も牛乳でなく豆乳などを飲むようにすることで、周りの環境をキレイにしていく
令和4年度	現在している学習塾のアルバイトで、生徒に質の高い授業を届けたいです。学習において誰も置いていかれない環境づくりに貢献します
令和4年度	男女平等の社会を作っていきたいです
令和4年度	ゴミを減らすために、エコバッグやマイボトルなどを使用する

年度	私のSDGs宣言
令和4年度	マイバッグ、マイストローを積極的に持参し、プラスチックごみを削減する
令和4年度	ジェンダー差別を無くしていきたい
令和4年度	食べ切れる量の食品しか買わない、頼まない
令和4年度	5/22日より毎月子ども食堂を子育て支援センターで行う(クレオ大阪)
令和4年度	カップラーメンの汁を捨てるのではなくおいしく頂きたいと思います
令和4年度	心身共に豊かな生活を送るようにすること。常にSDGsのゴールを意識すること。特に環境、社会問題
令和4年度	女性が活躍できる社会。女性が男性と同じ地位、女性だからといって決め付けで能力を判断されない社会を目指したい
令和4年度	マイバックを持参する。現在、スーパーだけでなくユニクロやショッピングセンターなど多くの場所で袋を買う必要がある。それだけ日本はプラスチックの削減に取り組んでいると考える。だから新しく消費する必要のないことはできるだけ持参して削減したい
令和4年度	プラスチックバックは出来るだけ使用せず、常にエコバックを持ち歩くようにする!!
令和4年度	食品ロスを削減し、出来るだけ多くの人に食料が行き渡るように心がける
令和4年度	職業差別を無くしたい

年度	私のSDGs宣言
令和4年度	飲食店の発注ミスなどによる、フードロスの削減
令和4年度	買い物の前に冷蔵庫の中を確認して無駄買いを防ぐ
令和4年度	国際交流の場を今後も提供する